

農業構想における目標の追加および修正について（案）

本構想で将来の「食と花の都」の指標と目標の変更を検討。

指標⑩ 田んぼダムの面積の目標値を変更する。

指標⑩	田んぼダムの面積										
目標値及び実績	平成25年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和4年度
	構想策定時									将来目標	新規目標
	5,000ha	5,051ha	5,215ha	5,555ha	5,979ha					6,000ha	6,500ha
目標値の見直し理由	平成30年度末時点で現目標の6,000haをほぼ達成した。今後も多面的機能支払交付金を活用し、本市農業の多面的機能を維持、発揮するため実施面積の拡大に取り組むことから、新たな目標は、現在までの伸び率を考慮して6,500haとする。										
目標を達成するための主な事業	<ul style="list-style-type: none"> 田んぼダム利活用促進事業 多面的機能支払交付金事業 										
今後の施策の方向	田んぼダム利活用促進事業にて効果検証シミュレーションを実施し、効果的かつ優先して取り組むべき地区について、多面的機能支払交付金の活動組織と協働して展開する。田んぼダムの実施地区とその効果について、市内外へ向けて積極的にPRしていく。										

※基本方針1：競争力のある食と花の確立 指標⑬ 新たな園芸産地の形成を新規指標として追加する。

新規指標⑬	新たな園芸産地の形成										
目標値及び実績	平成25年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和4年度
					見直し時					将来目標	
					累計3	累計6	累計8	累計10	累計12	累計12	
見直しによる新規追加理由	米の需要が減少する中、米中心の生産体制から高収益な園芸作物との複合経営に転換するとともに、出荷量を増加し競争力のある産地の育成を図るために大規模園芸産地を形成し、儲かる農業の実現を図る。										
目標を達成するための主な事業	元気の農業応援事業(新たな産地づくり支援)										
今後の施策の方向	米中心の生産体制から園芸作物の導入による複合営農を推進するため、新たな園芸産地の育成のための支援事業を整備し、高収益園芸農業の展開を進める。										